

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	N.N	学部・学科	国際商学部国際商学科
学年	3年	派遣国	オーストリア共和国
派遣大学	ウィーン大学		
期間	2022年2月2日～2022年8月1日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <input type="checkbox"/> 学外の学生寮 / アパート / その他 ( )					
部屋	<input type="checkbox"/> 個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (56,810) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (16) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	5000 円	野菜、オートミール、パスタなど
学用品購入費	1000 円	印刷するためのカード、ノート、教科書など
交通費	2340 円	セメスターチケット、1ヶ月のチケットなど
交際費	20000 円	ランチ、バーなど
その他	円	

合計

28340 円

\*概算で記録してください。

## (2) 治安状況・危険地域など

全体的に治安はとても良いです。  
街の全体の様子として、移民系の浮浪者が駅の周りや人通りの多いショッピング街には多  
かったように感じます。電車やバスを待っている間にお金を要求してくると言ったことは  
あったものの、しつこく聞いてきたり危害を加えてくるようなことはなかったです。

## 3. 医療について

### (1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 7 ) ヶ月間	保険料	(71320) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

## 4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 ( **ウィーン** )  
第一世界大戦までは、オーストリアハンガリー帝国の首都として栄えてきた。クラシック音  
楽が盛んで、モーツァルトやベートーヴェン、シューベルトなど多くの作曲家が活躍したこ  
とから「音楽の都」と呼ばれている。音楽関係で留学している学生が多く、様々な人種の人々  
が住んでいる。  
ウィーンは観光業が盛んであり、宮殿や大聖堂、劇場などが多くあり多くの作曲家の活躍の  
場となっていた。  
そしてウィーン大学はドイツ語圏最古・最大の総合大学である。多くの学部を持ち、様々な  
著名人を輩出してきた。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ウィーン大学	所在地	Universitätsring 1, 1010 Wien
最寄空港	International Vienna Airport	空港からの距離	20km 電車で1時間
空港⇄大学	(Lange Gasse→Prater Stern→Flughafen Wien ) *移動手段		
学生数	約 94000 人	留学生数	約 2000 人
学部	Afrikawissenschaften アフリカ学 Ägyptologie エジプト学 Alte Geschichte und Altertumskunde 考古学 Astronomie 天文学 Betriebswirtschaft 経営学 Bildungswissenschaft 教育学 Biologie 生物学 Byzantinistik ビザンツ学 Chemie 化学 Deutsche Philologie ドイツ語文献学 English and American Studies 英米学 Erdwissenschaften 地球科学 Ernährungswissenschaften 栄養学 Europäische Ethnologie ヨーロッパ民俗学 Evangelische Fachtheologie プロテスタント神学 Geographie 地理学 Geschichte 歴史学 Hungarologie und Fennistik ハンガリー・フィンランド学 Informatik 情報学 Internationale Betriebswirtschaft 国際経営学 Internationale Rechtswissenschaften 国際法学 Islamisch イスラム学 Japanologie 日本学 Judaistik ユダヤ学 Katholische Fachtheologie キリスト神学 Klassische Archäologie 古典考古学 Klassische Philologie 古典文献学 Koreanologie 韓国学 Kultur- und Sozialanthropologie 文化社会人類学 Kunstgeschichte 文化歴史学 Mathematik 数学		

	<p>Meteorologie 気象学  Musikwissenschaft 音楽学  Orientalistik 東洋学  Pharmazie 薬学  Philosophie 哲学  Physik 物理学  Politikwissenschaft 政治学  Psychologie 心理学  Publizistik- und Kommunikationswissenschaft コミュニケーション学  Rechtswissenschaften 法学  Religionspädagogik 宗教教育学  Romanistik ロマンズ語学  Sinologie 中国学  Skandinavistik スカンディナヴィア学  Slawistik スラヴ学  Soziologie 社会学  Sportwissenschaft スポーツ学  Sprachen und Kulturen Südasiens und Tibets 南アジア・チベット言語文化学  Sprachwissenschaft 言語学  Statistik 統計学  Theater-, Film- und Medienwissenschaft 劇場映画メディア学  Transkulturelle Kommunikation 異文化コミュニケーション学  Urgeschichte und Historische Archäologie 先史時代と歴史考古学  Vergleichende Literaturwissenschaft 比較文献学  Volkswirtschaftslehre 経済学  Wirtschaftsinformatik ビジネス情報学</p> <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>
学部/専攻	<p>BA Volkswirtschaftslehre 経済学</p> <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>

## 2. 週間スケジュール

### ① (2)月/(7)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	語学学校	語学学校	語学学校	語学学校	語学学校
午後	友人たちと外出、または勉強	友人たちと外出、または勉強	友人たちと外出、または勉強	友人たちと外出、または勉強	友人たちと外出、または勉強

### ② (3)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	「経済学者のための社会学」 「経済政策とその組織の基礎」	「経済政策とその組織の基礎」	「金融経済学」	「経済政策とその組織の基礎」	勉強
午後	勉強	ドイツ語トリメスターコース	勉強または外出	ドイツ語トリメスターコース	友人たちと外出

### 3. 履修内容

科目（和訳）	経済学者のための社会学		
履修期間	3月～6月	単位数	4 ECTS
授業内容／形態	大教室での一斉授業方式 社会学の基礎・理論（社会学的思考の発展の歴史）を勉強し、経済社会や経済活動でどのように社会学が使われているのか、社会的決定の要因について理解する。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	経済政策とその組織の基礎		
履修期間	5月・6月	単位数	4 ECTS
授業内容／形態	大教室での一斉授業方式 経済政策の理論と実践を学び、オーストリアやEU・ヨーロッパで実際に行われている経済政策と関連づけて理解する。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	金融経済学		
履修期間	3月～6月	単位数	4 ECTS
授業内容／形態	ZOOM を用いた一斉授業方式 コーポレートファイナンスの基礎と理論を学び、資本市場と資本調達の手段について理解する。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

## 【総括】

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

私にとってこの留学は語学力の面だけではなく人間性の面でも大きく成長できたものだったと感じます。

語学力の面では、日本でも勉強してから留学したものの全く話すことができないスタートからドイツ語を使ってたやすく人と話すことができるようになるくらいにレベルを上げることができました。この体験から、言語の習得というものが机の前で座って勉強するものだったのが、人と話すことで成長をすぐに感じることができさらには楽しさも得られることを学ぶことができました。

しかしその反面私がドイツ語留学に関して後悔している点としては、何もわからない状態からドイツ語での授業に参加したことです。経済の興味を持っていた分野の授業を履修でき、EU圏内の公共政策や、経済学と社会学を繋げていつどのように経済活動の中で社会的な決定が行われているのかなどについて、日本では勉強することが難しいと思われる分野を学ぶことができ、さらには日々の授業の中で少しずつ理解できるように成長を感じられたのは確かです。その一方で、最終的に単位を取得することが出来ず、夏学期の間、大学の授業よりも集中的にドイツ語を勉強する語学学校のコースを選択したほうがよかったのではないかと思うこともあります。

こうした後悔の中でも、日本学部の学生との交流を中心とした様々な友人たちとドイツ語を話すことを通して、勉強してきたことを生かしながら人と会話することの楽しさ、そして自分の成長を実感することができる嬉しさを知ることができました。

そして人間性としての成長としては、率先して行動・発言をすることができるようになったことです。留学前までは全て受け身で周りの人からの答えを待つ傾向があったのですが、この留学を通して、自分の意思をしっかりと伝え、それを叶えるために自ら率先して動くことの大切さについて学びました。さらにこの率先して行動・発言するということは、自分がどのように考えている人間なのか、それに対して相手はどのように考えているのかとお互いに理解を深めることができるのだとも知ることができました。

この半年間、楽しいことばかりではなく、思い悩んだことも多くあり、また後悔したことも多くあります。しかしこのような経験を通して本当に多くのことを学ぶことができ、また忘れがたい素晴らしい人々と出会うことができました。本当に素晴らしい体験ができたことを嬉しく思います。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

私は、この留学での日本とウィーンの様々な歴史的、経済的な違いの発見を通して、経済を勉強したいという漠然とした興味だったものから、ヨーロッパで大きな社会問題とされている貧困移民について大きな興味を持つようになりました。そのため、今後はこれに関連した分野について研究していきたいと考えています。ドイツやオーストリアは移民を開放的に受け入れてきた国であり、移民やそれによる経済効果や問題についての研究が進んでいるため、こうした大学院への進学を目標にしたいとも考えています。

また、語学面では、引き続き勉強し、更なるドイツ語への理解を深めていきたいと考えています。具体的には、先ほども述べたような大学院へ進学するために C1 レベルの試験への合格を目指したいと思います。そのために、ただ机に向かって勉強するだけでなく、話す機会を自ら作るように努力するつもりです。

そして、留学中にウィーン大学日本学部の友人たちがドイツ語の練習を手伝ってくれたように、私も横浜市立大学にいる留学生の留学生活を手伝うことができたらと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

私にとって留学から学んだことは多くあります。語学的な面で多く学んだのはもちろんのこと、様々な経験を通して、私はどのように考えてどのような姿勢で物事に取り組むべきかなど考えることの大事さについても学びました。

正直、留学中楽な方に流れてしまうことも多かったし、目的を見失ってしまうことも多くありました。しかし、私は今何をすべきかなどその都度考え直すということ、そして熱意を持って取り組むことで、また新しい道が開けるのではないかと思えるようになりました。受け身ではなく、積極的な姿勢でいることで落ち込むことがあっても前向きにまた頑張れるようになる、留学はこうした考え方を学ぶきっかけになると思います。

留学は本当に何にも変えがたい体験をすることができ、また自分自身も大きく成長することができるきっかけになると思います。楽しいだけではなく、悔しい、大変だったこうした経験は、私たちの今後の人生に新しい大きな変化を与えてくれると思います。留学準備から大変なことが多くあると思いますが、留学に向けて諦めず頑張ってください！